



知恵を活かしたもののづくりが 京都を変える!そして日本を変える!

京都 知恵産業新聞

問い合わせ先
京都商工会議所
〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル
☎075-212-6400 ☎075-255-1985
<http://www.kyo.or.jp/kyoto/>

わたしたちが誇る京都は、昔からの人々の知恵を活かして、伝統を大切に発展してきた都市です。その知恵を活用することは現代でも大きな利益を生むはず。京都商工会議所は京都府・京都市とも連携しながら、京都に伝わる昔からの知恵を現代、そして次代の産業に活用し、人々や社会に役立つものづくり・サービスづくりを進める企業を応援しています。

京都商工会議所発 知恵産業のまち・京都の推進

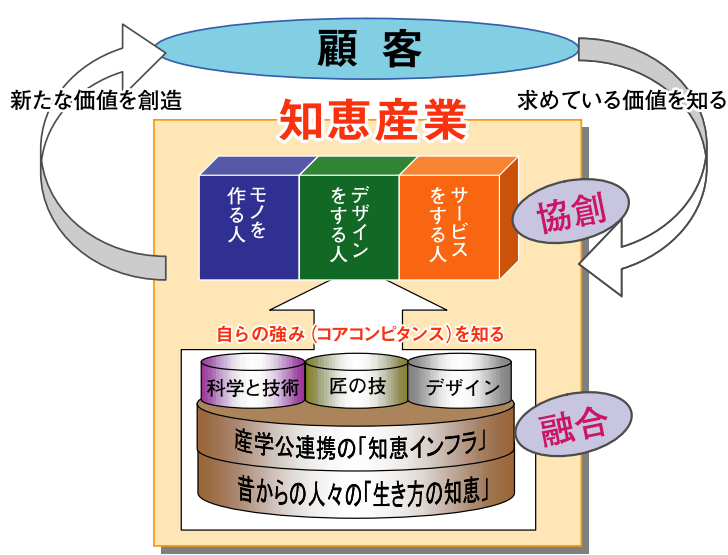
京の知恵を活かした「知恵産業」の創出を!

京都商工会議所は二〇〇七(平成十九年)に立石義雄新会頭のもとでニュー京商ビジョンを策定し、その基本方針として「知恵産業のまち・京都の推進」を発表しました。

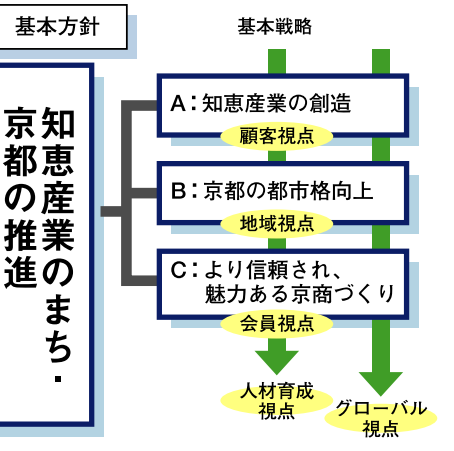
知恵産業。それは学校や研究機関など、知識を学び扱う産業を意味する言葉ではありません。京都の長い歴史の中で培われた暮らしの知恵、ものづくりの知恵、商いの知恵などを現代の産業に活かしたものを意味します。

京都は歴史・文化・宗教など「日本の心」の中心的存在。さまざまな日本の知恵は、くぐんできた歴史があります。同時に、日本で初めて路面電車を走らせ、学制発布よりも先に町衆の手で小学校を整備するなど、進取の気性に満ちた地でもあります。

京のものづくりやサービス産業が数百年の長きにわたって続き、伝統の名を冠して呼ばれるようになったのは、そこに職人を中心とした住民たちの不断の



革新があったからです。そんな伝統や職人を新しい産業にも活かすこと。本質は維持したうえで、時代に合わせて柔軟に変化していく。進取の気性はそんな京の知恵の一面ともいえます。こうした昔ながらの「京都の知恵」を、現代の科学と技術、匠の技、デザインの知恵に融合させ、さらなる付加価値を創造する事業、それが「知恵産業のまち・京都の推進」なのです。



例えば、現代の大量生産・大量消費のモノづくり産業では、生産の量や質、高効率の生産による低価格化などに主なる価値を置きます。やがて価格競争の中でモノはコモディティ化(商品の没個性化)し、低い価値しか得られなくなるでしょう。しかし、京都のものづくりも、もてなしなら

わしでは、自分だけが持つ喜び、使う楽しさに価値を見出すことが少なくありません。暮らしに誰もが持っているモノがあふれた時代に、いかにして市場を開拓するか。そんな現代的課題の大きなヒントになります。

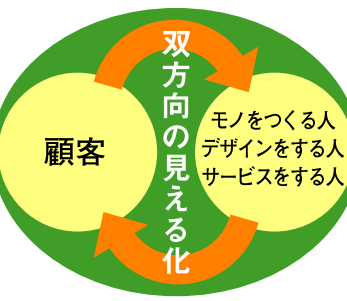
また、京の町衆の暮らしの中には、「足るを知る心」や、今や世界の共通語となった「もったいな

い」の心が根付いています。さらに、関東の粋とは違った雅の価値観も影響し、心豊かで持続可能な暮らしを続けています。こうした知恵を産業に活かせば、環境の保全や安心・安全の確保、また人々の心を満足させるものづくり、そしてこれからの持続可能な社会をつくることに貢献できると期待します。

今、顧客が望んでいることを実現する

知恵産業のまちを実現する鍵は、つくる人、デザインする人、サービスする人が、顧客の望む本物の価値を顧客と一緒に実現させること、つまり「協創」にあります。

そのためには、つくる人と使う人(顧客)が互いに顔の見える双方向の関係にあることが大切です。この関係を「双方向の見え化」と名付けました。



これも京都の知恵を活かした考え方です。京都には昔から「店が客に支えられる」と同時に、客も店に育てられる」という互恵関係がありました。花街の「見さんお断り」も、閉鎖的な商習慣というより、そのための知恵だったと言えます。

左上の図に「融合」と「協創」というキーワードがあります。京都に蓄積されている昔からの生き方の知恵や現代の知恵が「融合」し、それをもとに新たなものづくりに励む「協創」へとつながります。

知恵産業のまちを推進するために、私たちが立てた基本戦略は三つ。第一に「知恵産業を創出する」。第二は地域全体の活力を上げることで個々の企業や人が幸せで元気になるための「京都の都市格(ブランド力)向上」。そして第三はその実現をお手伝いする私たち自身の成長である「より信頼される魅力ある京商づくり」です。

京のまちづくりを担う商工会議所へ

私たちは、中小企業が幸せで元気になる第一歩が「京都なら

すること。第二は地域全体の活力を上げることで個々の企業や人が幸せで元気になるための「京都の都市格(ブランド力)向上」。

では地域の特性や強みを活かす、変わりゆく社会の中で生まれる新たな価値観を的確にとらえること」にあると考えています。知恵産業のまち・京都の推進はそのための強力な戦略。現会員はもとより未加入の皆様にもご参加いただき、幸せと元気にあふれた京のまちづくりを一緒に進めていきましょう!

入会をご希望の方は、ぜひ京都商工会議所までご一報ください。心からお待ちしております。

『フェラーリと鉄瓶』の奥山氏が激励講演

京都・知恵ビジネス・ワークショップを開催

9月9日に京都文化博物館で京都・知恵ビジネス・ワークショップを開催、地元25社の事業者が自らの強みを活かした「知恵の使いどころ」を披露しました。

また、エンツォ・フェラーリをデザインし、『フェラーリと鉄瓶』の著書でも知られる奥山清行さんが激励講演。「日本人が作らなければならないのは機能だけにとどまらない高い付加価値を持ったモノ。必要かどうかよりも持ちたくてたまらない、手触り感を大切にしたいもの」との発言に参加者が元気づけられました。



奥山清行氏

第1回ワークショップにご協力いただいた 企業・事業者・団体 (五十音順)

- ▽株式会社アーテック トリー▽株式会社アウラ▽株式会社同重▽株式会社片岡製作所▽京都試作センター株式会社▽京都伝統工芸大学校▽京都錦市場商店街振興組合▽農業生産法人こと京都株式会社▽株式会社最上インクス▽株式会社佐藤喜代松商店▽サンコール株式会社▽中沼アートスクリーン株式会社▽株式会社フイルノット▽株式会社日吉屋▽株式会社ファーマーズ▽ファイテン株式会社▽株式会社フイルノット▽株式会社ブーゼフル▽株式会社フェアリーエンジェル▽有限会社フクオカ機業▽福田金属箔粉工業株式会社▽株式会社伏見夢工房▽山中産業株式会社▽株式会社ルーツゴルフマロポ・ガレージ



参加者でにぎわうワークショップ会場(京都文化博物館)

次回のワークショップは来年2月ごろに開催予定です。ご関心のある方はご連絡ください。〈問い合わせ先〉産業振興部 Tel.075-212-6450

これからの 知恵産業・経営大会2008 ~新たな知恵と勇気を!~

と き 2008年11月17日(月) 13:00~17:00
と ころ 京都ホテルオークラ(京都市中京区河原町御池)
参加費 会員および学生:無料 一般:3,000円

プログラム

- 第1部 特別講演
【未来を切り拓く経営者たち】
講師:福島敦子氏(キャスター・エッセイスト)
- 第2部 分科会
第1分科会 【いま問われている経営哲学・経営者倫理】
第2分科会 【新たな知恵を!~挑戦の経営~】
第3分科会 【守戦の知恵~企業の持続のために~】
第4分科会 【環境とまちづくり】



福島敦子氏

申し込み ●<http://www.kyo.or.jp/kyoto/> ●Fax.075-256-9743
問い合わせ先 中小企業経営相談センター Tel.075-212-6467

企画・制作/京都新聞COM計画部

私たちは知恵産業のまち・京都を推進しています

飾らない銀行 THE NEW VALUE FRONTIER

OMRON 京都銀行 SHIMADZU KYOCERA 株式会社ワコール

ISHIDA 株式会社インダ 京都駅ビル開発株式会社 taiwa 学校法人 大和学園 地球のココロおどらせよう。株式会社 トーセ

日新電機株式会社 HORIBA muRata 村田製作所 ワタベウエディング

(順不同)